

【訂正情報】

以下、「(1刷)」とあるのは2016年発行(本の後ろの奥付(右の写真)の赤丸部分が「1刷」)のもの、「(2刷)」は2018年発行(奥付が「2刷」)のものです。

金 融

Money, Finance, and Financial System

2016年12月25日 初版第1刷発行

著 者 内 田 浩 史
発 行 者 江 草 貞 治
発 行 所 株 式 有 斐 閣
社 会 社
郵便番号 101-0051
東京都千代田区神田神保町2-17
電話 (03) 3264-1315 (編集)
(03) 3265-6811 (営業)
<http://www.yuhikaku.co.jp/>

印刷・製本 大日本法令印刷株式会社

© 2016, Hirofumi Uchida. Printed in Japan
落丁・乱丁本はお取替いたします。
★定価はカバーに表示してあります。
ISBN 978-4-641-16493-2

(1) 2.3.2 節(p.47)の(2.2)式: 誤植・・・(1刷)のみ

【誤】

$$\begin{aligned} C_l &= (1+r)(Y_\theta^A - C_\theta) - Y_f^A \\ &= -(1+r) C_\theta + ((1+r) Y_\theta^A - Y_f^A) \end{aligned} \quad (2.2)$$

【正】

$$\begin{aligned} C_l &= (1+r)(Y_\theta^A - C_\theta) + Y_f^A \\ &= -(1+r) C_\theta + ((1+r) Y_\theta^A + Y_f^A) \end{aligned} \quad (2.2)$$

(2) 3.2.3 節(p.65)の図 3-3: 誤植

(2018年4月17日: 以前の訂正の再訂正です)

図中の p (3箇所)と $1-p$ (3箇所)について:

(1刷では)

$$\text{【誤】 } p \Rightarrow \text{【正】 } 1-q$$

$$\text{【誤】 } 1-p \Rightarrow \text{【正】 } q$$

(2刷では)

$$\text{【誤】 } q \Rightarrow \text{【正】 } 1-q$$

$$\text{【誤】 } 1-q \Rightarrow \text{【正】 } q$$

(3) 3.2.4 節(p.67)の図 3-5: 誤植・・・(1刷)(2刷)共通

図中

【誤】点 A' と点 B の間の線分(点線)

は

【正】点 A' と点 B' の間の線分(点線)

の誤りです。

(4) 3.2.4 節(p.69)の 10 行目:訂正・・・(1 刷)(2 刷)共通

【誤】期待効用と期待収入が常に一致します。また、リスクプレミアムはゼロであり、

【正】期待収入が同じである限り、リスクの大きさ(得られる可能性のある収入や確率)に関わらず期待効用は同じになります。このため効用関数は直線で表され、リスクプレミアムはゼロとなり、

(5) 第 3 章練習問題(p.70)問 3.2:差し替え・・・(1 刷)(2 刷)共通(2018 年 10 月 1 日追加)

問 3.2 を以下に差し替えます。

1/2 の確率で 10000 円, 1/2 の確率で 100 円がもらえるくじ C を考える。

(1) もらえる金額 x に対して得られる効用が $u = 2\sqrt{x}$ という効用関数で表される人を考える。この人がくじ C から得る期待効用を計算しなさい。

(2) くじ C は z 円で売られていたとする。この人は、 z がいくらであればくじ C を買うか。(ヒント:くじ C を買わずに z 円を持っていた時の効用を考えなさい)

(3) 効用関数が $u = 2 \ln x$ で表される人を考える (\ln は自然対数)。 $z=2000$ の時、この人はくじ C を買うか。答えなさい。

(4) (おまけ問題: 今後の改訂には反映されません)以前の練習問題 3.2 はどこが不適切であったか答えなさい。

【教科書には掲載しませんが、解答も示しておきます】

(1) $\frac{1}{2} 2\sqrt{10000} + \frac{1}{2} 2\sqrt{100} = \sqrt{10000} + \sqrt{100} = 100 + 10 = 110$

(2) z が $2\sqrt{z} = 110$ を満たすのであれば、この人はくじ C を買っても買わなくても (z 円をそのまま保有していても) 無差別である。この式を満たす z は $z=3205 (=55 の 2 乗)$ である。よって、この人は z が 3205 円以下であればくじ C を買う。

(3) $\frac{1}{2} 2\ln 10000 + \frac{1}{2} 2\ln 100 = \ln 10000 + \ln 100 = 4\ln 10 + 2\ln 10 = 2\ln 1000$

このため、この人は z が 1000 円以下でなければくじ C を買わない。このため 2000 円では買わない。(2) と比較することで、効用関数の形状によって判断が異なることを理解しましょう)

(4) 効用関数が $u = z\sqrt{x}$ で表される人は、確実に 2500 円以上もらえるのであれば、 z が (正であるかぎり) どのような値をとってもくじ A は選ばない。つまり、 z の値はくじの選択に影響しない。このため、以前の(1)~(3)は問として不適切である。

(6) 第 3 章練習問題(p.70)問 3.4:変更・・・(1 刷)(2 刷)共通

3.2.4 節(p.69)の 10 行目の訂正に合わせ、問 3.4 を次のように変更します。

【旧】危険中立的な効用関数を持つ人の確実性等価とリスクプレミアムの性質を調べなさい。

【新】危険中立的な効用関数を持つ人について、その効用関数が直線で表されることを確認しなさい。またその確実性等価とリスクプレミアムの性質を調べなさい。

(7) 4.2.2 節(p.77)の図 4-3(図中)、同(p.78)3 行目と 18 行目、同(p.80)7 行目:誤植・・・(1 刷)(2 刷)共通

【誤】誘引整合性条件 ⇒ 【正】誘因整合性条件

(8) 4.2.2 節(p.79)の下から 1 行目:誤植・・・(1 刷)(2 刷)共通

【誤】 $s=q/I$ ⇒ 【正】 $s=I/q$

(9) 4.3.1 節(p. 81)上から 21 行目～23 行目:(誤りではなく表記の改善)・・・(1 刷)(2 刷)共通
(2018 年 10 月 1 日追加)

【旧】 ... A タイプであって成功する確率は $1/2p$ です。同様に、借手が B タイプであって成功する確率は $1/2q$ です。このため、タイプがわからないときの期待収益は $(1/2 p + 1/2 q)R$ となります。

↓↓↓

【新】 ... A タイプであって成功する確率は $p/2$ です。同様に、借手が B タイプであって成功する確率は $q/2$ です。このため、タイプがわからないときの期待収益は $(p/2 + q/2)R$ となります。

(10) 5.4 節(p.99)の図 5-5(a)(左側):誤植・・・(1 刷)(2 刷)共通

図中の q' (2 箇所)について:

【誤】 q' ⇒ 【正】 q (ダッシュなし)

(11) 6.3.2 節(p.111)の下から3つ目の式:誤植・・・(1 刷)のみ

(「努力した時の企業家の期待利潤は、」の次)

【誤】 $p(R-r)-(1-p)-e$

【正】 $p(R-r)-(1-p)K-e$

(12) 8.2.1 節(p.150) 表 8—2・・・(1 刷)(2 刷)共通 (2018.5.18 追加)

表 8—2「日本の普通銀行」の「第二地方銀行」のところ、

【正】「西京銀行」を追加

(「もみじ銀行」と「徳島銀行」の間に「西京銀行」が入るべきところ、編集過程で抜け落ちてしまいました。申し訳ありません。)

(13) 節(p.219)の脚注 19: 誤植・・・(1 刷)(2 刷)共通

【誤】制度上販売会社、証券会社なら

【正】制度上販売会社は、証券会社なら

(14) 11.1 節(p.241)の下から 7 行目: 誤植・・・(1 刷)のみ

【誤】 補足 ⇒ 【正】 捕捉

(15) 11.3 節(p.247) 表 11-5: 訂正

【誤】

	(1) ストック (2016年3月末残高)				(2) フロー (2015年度中の変化)					
	資産(A)	負債(L)	A-L	貸手/借手	資産 (ΔA)	負債 (ΔL)	ΔA-ΔL	黒字/赤字		
家計	1,752.0	>	391.8	1,360.2	貸手部門	13.7	>	12.9	0.9	黒字部門
非金融法人企業	1,092.2	<	1,576.9	-484.7	借手部門	40.4	>	1.1	39.3	黒字部門
一般政府	549.8	<	1,245.1	-695.3	借手部門	-15.2	<	0.2	-15.4	赤字部門
対家計民間非営利団体	56.0	>	30.8	25.2	貸手部門	1.6	>	2.2	-0.6	黒字部門
海外	573.6	<	924.5	-350.9	借手部門	21.0	<	38.3	-17.3	赤字部門
金融機関	3,691.8	>	3,542.8	149.0	(貸手部門)	159.8	<	166.7	-6.9	(赤字部門)

【正】(黄色マーカー部分)

	(1) ストック (2016年3月末残高)				(2) フロー (2015年度中の変化)					
	資産(A)	負債(L)	A-L	貸手/借手	資産 (ΔA)	負債 (ΔL)	ΔA-ΔL	黒字/赤字		
家計	1,752.0	>	391.8	1,360.2	貸手部門	13.7	>	12.9	0.9	黒字部門
非金融法人企業	1,092.2	<	1,576.9	-484.7	借手部門	40.4	>	1.1	39.3	黒字部門
一般政府	549.8	<	1,245.1	-695.3	借手部門	-15.2	<	0.2	-15.4	赤字部門
対家計民間非営利団体	56.0	>	30.8	25.2	貸手部門	1.6	<	2.2	-0.6	赤字部門
海外	573.6	<	924.5	-350.9	借手部門	21.0	<	38.3	-17.3	赤字部門
金融機関	3,691.8	>	3,542.8	149.0	(貸手部門)	159.8	<	166.7	-6.9	(赤字部門)

(対家計民間非営利団体は、速報値では黒字部門でしたが確報値では赤字部門になりました: 数

値は修正していましたが不等号を直していませんでした)